

キャラクター名  
黒白 ツバキ(くろしら つばき)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー ハヌマーン	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	神出鬼没の高校生
オプション		年齢	???	性別	???
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	36 %
出自	転生体	経験	死と再生	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《過去との約束》(プロメスフォーシル)	白兵	2r+4	3	10		侵食+7 hp-4 達成値+2
《優しさ後悔》(タンドレスルグレ)	白兵	6r+5		武器		侵食+4 hp-2 c値7
《未来との約束》(プロメスアヴニール)	白兵	2r+4	3	14		100~ 侵食+7 hp-6 達成値+2
《優しさ信頼》(タンドレスクレディ)	白兵	14r+6		武器		100~ 侵食+4 hp-2 c値7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
携帯電話	
制服	
カジュアル	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
戦闘用人格	P	N		
アカネ	P 信頼	N 不安		
『約束』	P 庇護	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ブラム・ストーカー	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: c値-Lv								
赫き剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: Lv0 以下のhp消費 武器作成								
破壊の血	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: hp-2 武器攻撃力+Lv0 2 ガード値+3								
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 全力移動後、白兵攻撃								
鮮血の一撃	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダイス+Lv+1 hp-2								
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100~	
効果: メジャー2回 c値+1 シナリオ1								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv 基本侵食+5								
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: 達成値+Lv								
軽功	★							
効果:								
ブラッドリーディング	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

学校に通うレネゲイドビーイング。  
授業には面白そうなものだけ行ってそれ以外は全てサボるが、《アカネ》に勉強を教えられる。  
戦う時は血鎌を作り出し、舞うように切り刻む。《戦闘用人格》が発動した時、アカネが表に出る。  
アカネの過去も知っており、彼女とある約束している。ツバキはこの約束を絶対守る事を決意している。

アカネについて 情報:ugn 10  
アカネ ブラムストーカー 17歳 ugnチルドレン  
世界クラスで優秀なブラムストーカーの使い手だったが、その甘さ故に騙されやすく、仲間だと思ってたエージェントからも、その支部の支部長からも、そして家族からも裏切られて死に至り、『裏切りによる死』に敏感になる。残存するレネゲイドがツバキと混ざり、その人格となる。  
数々の信頼していた人から裏切られた事によるショックで鳴りをひそめ、お互いの存在を認識できてなかったが、ツバキがFHIによる奇襲を受けたところをお人好しが発動して助ける。その後ツバキに自分の事を話し、ツバキからは『まあ、その甘さは格好の餌だろうね』と言われ、更に意気消沈したが、『だけど僕は裏切らない、だって君は僕の大切な『僕』の一部だから。自分が自分を裏切るなんておかしいだろ？折角面白そうな存在になれたんだ、つまらない悲劇なんていない。』と発した彼を信じ、彼と『パッドエンドじゃ終わらせない』約束をする。